

科目名	在宅看護方法Ⅱ (看護実践) In-Home Nursing Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	日比野 直子 他 (406)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次前期	科目区分	専門科目・広域看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(30)	授業形態	講義・演習	科目等履修生	否
										オープンクラス	否	
科目目的	疾病や障がいを持ちながら地域で生活する療養者とその家族の健康課題をアセスメントし、療養者や家族のニーズに適した在宅看護過程の展開について学ぶ。在宅で看護を提供するにあたり必要となる知識と在宅医療技術について学ぶ。											
ディブラー・ホールン(DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
	関連するDP	B 人々の生活に根差した看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達目標	1. 療養者・家族のニーズに合わせた在宅看護過程の展開方法が説明できる。 2. 在宅で医療や看護を提供するにあたり、必要となる知識や技術についてエビデンスを元に説明できる。											
成績評価方法(基準)	筆記試験50% レポート課題50% 出席把握はリフレクションシートで行う。											
再試験の有無と基準等	科目の可否決定で不合格となった場合、希望者は面談を実施する。再試験はしない。											
教科書												
参考書等	適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	在宅療養者の暮らしをアセスメントし、在宅看護過程の展開方法を演習します。療養者の生活を理解し、家族を支え、多職種間で連携しながら療養者と家族を在宅で支援する方法を学びます。											
備考	在宅看護方法Ⅰの単位を修得していなければ受講できない。											
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法			
1回	訪問看護の概要			訪問看護のシステムについて理解する 訪問看護ステーションの活動について理解する 訪問看護の根拠となる制度が理解できる 地域包括ケアシステムの構築として在宅看護が担う役割について理解する				日比野 他	講義			
2回	医療依存度の高い療養者の家族への援助①			在宅での医療処置の現状を捉え医療行為(医行為)について理解する 在宅人工呼吸療法(HMV NIPPV含む)について必要な看護や緊急時の対応について理解する				日比野 他	講義			
3回	医療依存度の高い療養者の家族への援助②			褥瘡ケア ストーマ管理 膀胱留置カテーテル 間欠導尿 腹膜透析(CAPD)について在宅で必要な看護について理解する				日比野 他	講義			
4回	医療依存度の高い療養者の家族への援助③			中心静脈栄養管理(CVポート含む) 経管経腸栄養法 麻薬等を用いた疼痛管理 服薬管理 について在宅で必要な看護や適切な対応について理解する				日比野 他	講義			
5回	在宅看護過程の考え方と展開方法			在宅看護過程の進め方を理解する 在宅看護過程に必要なアセスメントについて学ぶ				日比野 他	演習			
6回	在宅看護過程の事例展開①			2種類の事例から1つ(複数の疾患を抱える高齢者)を選び、看護過程の展開についてグループで取り組む。 事例A:脳梗塞後遺症と糖尿病 事例B: COPDと高血圧 疾患があっても自立した生活を維持するための生活支援とは何かに着目し、援助の内容を考える。				日比野 他	講義			
7回	在宅看護過程の事例展開②			2種類の事例から1つ(複数の疾患を抱える高齢者)を選び、看護過程の展開についてグループで取り組む。 事例A:脳梗塞後遺症と糖尿病 事例B: COPDと高血圧 疾患があっても自立した生活を維持するための生活支援とは何かに着目し、援助の内容を考える。				日比野 他	演習			
8回	在宅看護過程の事例展開③			2種類の事例から1つ(複数の疾患を抱える高齢者)を選び、看護過程の展開についてグループで取り組む。 事例A:脳梗塞後遺症と糖尿病 事例B: COPDと高血圧 疾患があっても自立した生活を維持するための生活支援とは何かに着目し、援助の内容を考える。				日比野 他	演習			
9回	在宅看護過程の事例展開④			2種類の事例から1つ(複数の疾患を抱える高齢者)を選び、看護過程の展開についてグループで取り組む。 事例A:脳梗塞後遺症と糖尿病 事例B: COPDと高血圧 疾患があっても自立した生活を維持するための生活支援とは何かに着目し、援助の内容を考える。				日比野 他	演習			
10回	在宅看護過程の事例展開⑤			グループ学修の成果報告と討議 事例A				日比野 他	演習			
11回	在宅看護過程の事例展開⑥			グループ学修の成果報告と討議 事例B				日比野 他	演習			
12回	訪問看護に必要なマナー			訪問看護に必要な基本的なマナーや態度について理解する 実際の訪問看護の場面をDVDで視聴する グループで取り組んできた事例に基づきロールプレイを行う場面設定(シナリオ、役割分担等を行い5分程度の内容)をする				日比野 他	演習			
13回	在宅看護過程の事例展開⑦			事例Aに基づいて訪問看護師、療養者 家族などの役割分担をしてロールプレイを行い、評価する				日比野 他	演習			
14回	在宅看護過程の事例展開⑧			事例Bに基づいて訪問看護師、療養者 家族などの役割分担をしてロールプレイを行い、評価する				日比野 他	演習			
15回	在宅療養に必要な災害対策			過去に発生した自然災害から災害に対する準備と対応について考える 訪問看護ステーションと在宅療養者に必要な備えについて考える				日比野	講義			
学 習 課 題												
第2～4回目の講義に関する事前課題:在宅で実践されている治療について「その治療や療法が行われている背景」「在宅で治療が必要となる対象者」「在宅に必要な看護」について調べノート(手書き可)を作成して講義に参加する。事前課題は、講義中使用するため、終了後提出とする。 第15回目の講義に関する事前課題:「過去に経験した災害を踏まえて現在の準備状況等をレポートする」様式は講義中に提示する。 第6～11回目で行った在宅看護過程については、グループで作成したものをもとに個人で作成する。個人提出は、第15回講義終了後とする。												
実務経験を活かした教育の取組												
・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。												